

# 茨城新聞

6/9

[火曜日]

## 在学中に運転免許 古河の校 自動車学校と協定



連携協定を締結した斉藤行信理事長(中央)と塚田秀紀社長(右) 古河市東の盈科学園

古河市で公務員など養成の専門学校を運営する学校法人盈科学園(斉藤行信理事長)は、同市の古河第一自動車学校(塚田長剛社長)と筑西市の東西自動車学校・上筑波自動車学校(塚田秀紀社長)との間で、道路交通法の授業等に関する連携協定を結んだ。同法人の

生徒向けに、両自動車学校が道交法などの講義を提供する。

対象は、同法人の運営する「日本生物資源危機管理専門学校・危機管理学科公務員養成コース」に来年度以降に入学する生徒。警察や消防、自衛隊など公務員を養成するコースで、生徒はリスク危機

管理や毒劇物を含む薬物関連法規、環境管理法などを学んでいる。

協定では、同コースの中の道交法の講義・実習を、両自動車学校内で受講できる。これにより、在学中に別途費用の負担なく運転免許も取得でき、公務員として就労する際に生かせるという。

このほど開かれた協定式で、斉藤理事長は「地元就職する生徒が増え、地域の活性化にもつながる。地域住民と関わりながら安心・安全な地域社会を学ぶため、生徒たちによる地域パトロールの実施も計画している」と話した。塚田秀紀社長は「協定により互いの連携を深めたい」と期待を込めた。